

令和7年度 第1回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）

開催日時	令和7年8月1日（金曜日）14時30分～16時		
開催場所	平塚市中央図書館3階ホール		
出席者	委員	西田 洋平 会長 森谷 芳浩 副会長 小林 浩代 委員	
	事務局	林 秀樹 委員 吉野 雅裕 教育長 石川 社会教育部長 藤田 中央図書館長 熱田 管理担当長 仁和 奉仕担当長 西海 奉仕担当主管 関山 管理担当主査 渡邊 管理担当主査	
欠席者	蝦名 今日子 委員 宮田 篤 委員		
傍聴人	3名		

1 正副会長選出

委員の互選により、会長に西田委員、副会長に森谷委員が選出された。

2 議 題

（1）平塚市図書館協議会の職務について

ア 根拠法令の抜粋

イ 過去の協議内容、今後の開催スケジュール

事務局から資料の説明

（質問及び意見なし）

（2）平塚市図書館の概要について

ア 平塚市図書館の概要、利用状況

イ 平塚市図書館の重点目標、事業計画

ウ 平塚市図書館費歳入歳出予算の概要

事務局から資料の説明

【副会長】 平塚市中央図書館の改修は、元々、プランはあったのか。

【事務局】 今回の改修は、耐震性が不安視された建物の耐震補強を前提としつつ、老朽化の著しい電気や水道、空調などの建築設備の更新を主として実施する。

【副会長】 サービス面で何か大きく変わることはあるのか。

【事務局】 大きな変更は無い。ただ、耐震ブレースや耐震壁を設置することで、利用スペースが減少する可能性があり、移動経路や書架レイアウトの変更もあり得る。現在、提供しているサービスを維持しつつ、快適性を向上させるために何ができるのか検討したい。

【委員】 海老名市立図書館では、建物の外観はそのままに内装を大規模改修して、素敵な空間となっていた。平塚市でも、「自慢できる、お役立ち図書館」という基本理念があるので、自慢できるような内装にリニューアルされると期待していたが、そうではないのか。

【事務局】 あくまでも、耐震補強や設備更新が主となるため、他自治体で実施したようなリニューアルでは無い。ただ、今回の改修に伴い、レイアウトなどを工

	夫しながら、快適で利用しやすい空間にしたいと考えている。
【 会 長 】	内装はある程度変わる、と考えてよいのか。
【 事 務 局 】	建物内部の建築設備を更新するため、天井や壁、床などの傷んだ部分も更新する。トイレもすべて洋式化し、照明もLEDとなる。バリアフリーを意識した改修となり建物自体は変わらないものの、内装の状況は改善される。
【 会 長 】	建物自体は変わらないが、入館したときの印象は大きく変わるのではないかと期待している。
【 事 務 局 】	改修によって、入館した際の印象は良くなる。まずは、耐震補強が第一。耐震診断の結果が出ている以上、まずは、その不安を解消したい。
【 副 会 長 】	現在、設計業者と調整を進めているとのことでは。
【 事 務 局 】	そのとおり。現在、設計業者と協議を進めている。
【 副 会 長 】	後になって、これをやっておけば良かった、といったことが無いように、改修工事での実施内容の協議は、注意深く進めてほしい。
【 会 長 】	実際の工事の開始は来年度の夏頃になるのか。
【 事 務 局 】	中央図書館の改修工事の開始は、令和8年10月頃を予定している。なお、工事を開始するための休館は、同年7月頃を予定している。詳細は決まり次第、周知をしたい。
【 委 員 】	一般的に図書館では、座席数が足りない、ワークスペースが不足しているなどの問題が発生している、と聞く。また、本来利用したい人たちがワークスペースを使えない状況になっていることもある。そうした問題に対する配慮はされるのか。面積が増えないとのことだが、座席数やワークスペースはどうなるのか。
【 事 務 局 】	現在の利用状況等も考慮しながら、最適な配分として、増減をどうするか検討する。すべての利用者の要望に応えることはできないものの、利用しやすく快適な空間作りのために意識していきたい。
【 委 員 】	利用しやすい図書館とは、という部分では具体的にされていないところがあるので、明確にしてほしいと考える。 なお、図書館の内装などを含めて、検討している内容については、市民に意見を聞く機会を設けているのか。
【 事 務 局 】	今回の改修は新たな機能を付与するものではない。そのため、現在、図書館改修に関しての意見を直接的に伺う機会は設けていない。
【 副 会 長 】	歳出予算について伺いたい。中央図書館業務事業について、主な減少理由に「システム更新や地域資料デジタル化委託料による」との記載があるが、何か事情があつて、予算が減少したということか。
【 事 務 局 】	令和6年度に図書館システムの更新を実施し、更新が完了したために減額となった。また、令和6年度末に、デジタルアーカイブの大幅拡充を行うための委託事業も終了したので減額となった。
【 副 会 長 】	地域資料のデジタル化の作業は、一旦休止となるのか。
【 事 務 局 】	外部委託としては、完了となる。今後は、適宜、手作業での追加をしながら、充実させていきたいと考えている。引き続き、事業として進めていく。

(3)「これからの平塚市図書館運営のあり方」について

ア 「これからの平塚市図書館運営のあり方」の概要

事務局から資料の説明

【 会 長 】	アンケートでは「ゆったりと読書ができるスペース」や「グループでの学習・議論ができるスペース」が求められていた。近年、図書館は滞在型の施設になりつつある。そのため、座席数を増やすなど、居場所としての図書館という観点からリニューアルをする必要があるのではないかと感じた。
【 事 務 局 】	気軽に立ち寄れる雰囲気作りも重要。3つの目指す方向性の2つ目、「時代のニーズに合わせた図書館」と合致する。非接触・非来館型のサービスを推進としてデジタル化を進める一方で、実際に来館された方には、気持ちよく過ごしていただけるような環境づくりも重要であり、両面から考えたい。
【 委 員 】	「ひらつか 駅の図書室」は立ち寄りやすい雰囲気があった。レイアウトに工夫があって、様々な年代の方々が利用していた。
【 会 長 】	ただ、「ひらつか 駅の図書室」は南図書館の改修工事中の代替施設であるため、一時的な施設とのことでよいか。
【 事 務 局 】	南図書館の改修工事が完了し、再開する時期と、中央図書館が改修工事のために休館する時期が重ならないように調整している。中央図書館が休館する際には、代替施設が必要となる。現在、「ひらつか 駅の図書室」を継続利用するか、別の場所に設置するか、調整を進めている。
【 事 務 局 】	以前から、ゆったりと過ごせる「滞在型図書館」の必要性について、多くの御意見をいただいている。現在、中央図書館の1階ロビーには、休憩スペースを設けており、令和5年2月から利用できるようになっている。そこではグループ学習や軽食ができるようになっており、夏休み期間中は、多くの小学生や中学生が利用している。限られたスペースではあるが、今後もこのような空間づくりを進めていきたいと考えている。
【 副 会 長 】	今後は、そうした考えを基にして、「これからの平塚市図書館運営のあり方」を改訂していくということになるのか。
【 事 務 局 】	そのとおり。策定当時の状況と現在では大きく社会状況が変化しており、見直すべき点やさらに深掘りすべき点があると考えている。いただいた御意見を踏まえて、改訂を進めたいと考える。 次回の図書館協議会では、事務局でまとめた中間報告をする。中間報告では、現在の取組の進捗状況や達成状況をまとめるので、それを基に、計画の改訂素案を作成していく。
【 委 員 】	中央図書館は、近接している博物館や美術館との連携が薄い印象がある。今年、美術館では、絵本作家の方を招き、原画を公開制作するというイベントがあった。図書館では関わりがあまりなかったのか。
【 事 務 局 】	連携していないわけではないが、現状として不足しているかもしれない。情報を把握できれば、可能な範囲で連動した企画ができるとよい。
【 委 員 】	思ったよりも周知が徹底されていないように感じる。イベントを開催していても、市民に情報が伝わっていないのであれば、意味が無く、勿体ない。
【 事 務 局 】	今後は、積極的にPR活動を行いたい。

全体をとおしての意見等	
【副会長】	図書館の改修計画とは別に、他の社会教育施設の改修計画の進捗等についてはどうか。
【事務局】	南図書館の改修が終わり次第、中央図書館の改修に入る。その後、美術館の改修も予定しており、美術館が終われば、博物館をはじめ、他の社会教育施設も順次改修を進めたい。
【副会長】	こうした改修のタイミングで、他の施設との連携ができるとうい。
【事務局】	図書館や美術館、博物館が、円滑な情報共有を行い、市民の皆さんに対する周知活動ができればと考える。
【委員】	図書館や美術館、博物館を一つの建物に統合することはできないのか。それぞれの建物が老朽化したときに改修となると、コストがかかるため、複合館にすることで、効率化できるのではないか。
【事務局】	それぞれの施設を一つの大きな施設に統合するという考えは、「平塚市公共施設等総合管理計画」の中でも議論されている。本市の方針としては、施設の長寿命化を重視しており、一つひとつの施設を改修しながら、70年から80年程度の耐用年数で利用し続けることを基本としている。そのため、建物の寿命が来た段階で、改めて「複合化」を検討するというのが市の考え方である。 今回の図書館改修も、既存の建物を建て替える場合と改修する場合でコストを比較した。その結果、改修した方が費用を抑えられ、かつ目標とする耐用年数を確保できると判断した。建物の改修後も、約20年ごとに設備の更新が必要となる。新築した場合でも同様に費用がかかるため、トータルコストを考えると、長寿命化のための改修が最も効率的だという結論となった。
【委員】	改修するよりも、早い段階で、建て替えをした方が、長期的に見ても良いのでは、という考えを持った人が周囲に多くいる。
【事務局】	今回の改修により、図書館の耐用年数を延ばした上で、複合化も含めて検討していく。
【委員】	それぞれの社会教育施設を行き来するのに当たり、雨に濡れないような造りになると良い。
【事務局】	建物の容積率や緑化率、道路をまたぐなどの法的な問題やコストを考慮すると、今の段階では難しい。将来的な複合化の検討の際には、そうした計画も含めて、検討ができるのではないか。
【会長】	中央図書館2階の貸出室と渡り廊下で繋がっている西棟は、図書館として使用しないということか。
【事務局】	元々、市の別の部署が事務所として使用していたこともあり、改修後についても同様に、図書館では使用しない。
【事務局】	改修後の西棟1階には子育て支援センターが入り、西棟2階には別の部署の事務所が入る。
【会長】	子育て支援センターは、図書館1階のこども室とは、連携することはあるのか。
【事務局】	ソフト的な部分で、おはなし会やブックスタートなどの事業的な連携は可能だと考えている。
【委員】	近隣の図書館で憧れなのは、大和市文化創造拠点シリウスにある図書館。

	同じ建物内に、図書館とカフェが併設されており、こうした施設であれば、利用者層も広がると考える。誘致などの検討はあるのか。
【事務局】	過去において、図書館を含む周辺環境を踏まえた上でカフェ事業者の誘致が検討はされたものの、事業者側から難しいとの判断が下されたと聞いている。
【委員】	市の建物という考えよりも、集客を考えた上での判断をしたほうがよいのではと考える。
【副会長】	建物の規模に対して、利用者が増えすぎてしまうと困る部分もある。平塚市図書館として、どのくらいの利用者規模を対象に考えているのかという前提の考えによるところがある。
【委員】	現在、「ひらつか 駅の図書室」が話題となっているが、今後、こうした施設の整備をしていくのか。
【事務局】	資料5「平塚市図書館の重点目標」の（2）にあるとおり、市民の暮らしに役立つ図書館づくりとして、中央図書館改修に伴う休館中の代替施設を図書館ランチ（分館）に続くものとして、準備を進めている。具体化した際は、協議会にも周知をしたいと考えている。
【委員】	施設利用料は高額なのか。
【事務局】	民間施設を使用しているので、当然、必要に応じた対価として、その使用料の支払いをしている。
【会長】	「ジ アウトレット湘南平塚」には、返却ポストと本が読めるスペースがあると聞いた。
【事務局】	返却ポストは、1階インフォメーション内に設置している。また、2階フードコートの一隅にキッズスペースがあり、そちらに「ひらつかしとしょかん ほんのもり」があり、子どもたちが本を自由に読むことができる。
【会長】	本が紛失することはあるか。
【事務局】	施設側からは、紛失は無い、と聞いている。
【会長】	「ジ アウトレット湘南平塚」で、貸出機能を拡大させて、中央図書館の代替施設として活用することも選択肢の一つとしてどうか。
【事務局】	地域のバランスや利用者の規模感を考えると、平塚駅に近い位置が適当であると考えている。
【委員】	現在、南図書館の代替施設である「ひらつか 駅の図書室」は、立地として、最適な場所だと考える。多くの世代が利用する平塚駅の6階にあることから、ここに図書館機能が設置されるのであれば、利用者は確実に増える。代替施設ではなく、継続的に設置されると良いと思う。
【会長】	「ひらつか 駅の図書室」では、予約図書の受取も可能なのか。
【事務局】	予約図書は、窓口で受取が可能である。
【委員】	「ひらつか 駅の図書室」のスタッフの印象が誠実で良かった。図書を調べる際に、曖昧な情報しか分からなかったが、丁寧に調べていただいた。

3 その他

次回会議は、令和7年11月14日、金曜日、14時30分からを予定している。会場は本日と同じく、平塚市中央図書館3階ホールとなる。

閉 会